

住み慣れた地域で
安心して暮らしていけるように

認知症 コラム

【第7弾】
認知症セミナーを
開催しました。



なる「令和7
年度認知症セ
ミナー」を野
田川わーくば
るで開催し、
約100人の方にご参加いた
だきました。

こんにちは、認知症地域支援
推進員です。今月号は、私たち
が主催した「令和7年度 認知症
セミナー」についてお伝えしま
す。

地域で支え合いながら、 自分らしく生きるヒントを学ぶ

「認知症になっても、ならな
くても、自分らしく幸せに暮ら
せるまち 与謝野町」をテーマ
に、日ごろから活動を行ってい
る地域支援推進員。9月27日に
は、コロナ禍を経て6年ぶり

施しました。
パネルディスカッションで
は、「症状によっては薬の効果
が期待できるため、早期受診を
心がけてほしい」「与謝野町に
はサポート体制があるので、一

今回のセミナーでは、パネル
ディスカッション「思いやりの
あるご夫婦のお話」ここから
学ぶよさの自分らしく暮ら
していくヒント」のほか、映
画『ケアニン〜あなたでよかつ
た〜』の上映、若年性認知症の
写真家で京都府認知症支援大使
の下坂厚氏による写真展を実

人で抱え込まずに相談してほし
い」などの意見が登壇者から寄
せられました。
今回のセミナーは、認知症と
上手に向き合うことで自分らし
い生活を続けられることを事例
を通して知っていただく機会と
なりました。また、「あれ、お
かしいな…」と思った段階で医
療機関や相談窓口につながるこ
との大切さを伝えるとともに、
地域で支え合い、安心して暮ら
せる『よさの』のまちづくりや、
家族のあり方を改めて考える
きっかけとなりました。



パネルディスカッションでは、町内にお住いの
ご夫婦の事例を紹介しました

問 地域包括支援センター（福祉課内） ☎ 43-9021

あなたの勇気が大切な命を守ります

～ 虐待を「見たとき」「聞いたとき」は通報を～

児童・高齢者・障害者の虐待に気づいた方には通報義務があ
ります。虐待を見たら、聞いたら「よさの虐待ほっとライン
（☎ 43-9033）」へ。

※ 休日・夜間は転送となるため、応答にお時間をいただきます

